

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------|------------|-------------|
| 事業所番号 | 3272100284 | | |
| 法人名 | (有)はるひ福祉サービス | | |
| 事業所名 | はるひ苑 津和野 | | |
| 所在地 | 島根県鹿足郡津和野町寺田67番2 | | |
| 自己評価作成日 | 平成22年 8月20日 | 評価結果市町村受理日 | 平成22年11月26日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://lllp://kouinyou-c.tukusni=shimane.or.jp/kaigosin/infomationPublic.do?LCD=3272100284&SC |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|----------------|--|--|
| 評価機関名 | NPOしまね介護ネット | | |
| 所在地 | 島根県松江市白濁本町43番地 | | |
| 訪問調査日 | 平成22年 9月 9日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所の理念をもとに、「ゆったりと楽しく自由にありのまま」に過ごしていただけるよう、その人その人の持ち味を活かしてできる事、できない事を見極め、共に穏やかな時の流れを共有するようにしている。地域の中へも出来るだけ外向き、各種行事への参加、特に近くの保育園との交流も年5~6回行い、小さかった園児さんの卒園時には苑内で利用者と共に卒園のお祝いをしている。
又、認知症の正しい診断をもとに、それに沿った介護を職員が同じレベルで正しく行っているよう、はるひ苑の介護マニュアルの作成を職員全員で取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自治会や地域の行事に利用者や職員が出来るだけ参加するようにし地域に溶け込む努力をしている。利用者、家族の思いを汲んだサービスを提供しようと、毎月たより等を送る時に返信用封筒を同封し家族から意見・要望を聞き出せるような工夫をしている。理念が共有され、研修も年間計画を立てて実践し職員の育成に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|--|---|---|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | <input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | <input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | <input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | <input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | モニタリング、ミーティング時、毎朝の朝礼、申し送りの際に職員全員で理念を唱和し、理念に基づいてケアするよう常に声を掛け合っている。 | 理念は法人全体で統一している。管理者と職員は毎日のミーティングで理念を共有し、計画に反映させ実践している。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 自治会に加入しており職員は町道の草刈に参加し花見や盆踊り、運動会、空き缶拾い、地区の文化祭には利用者の展示コーナーを設けていただき作品の展示をさせていただいている | 自治会の行事に出来るだけ参加し、地域の園児との交流も定例化しつつある。地域向けの「たより」を作り回覧板に添えてもらうよう依頼しているがまだ実現していない。 | 地域向けの「たより」を引き続き発行し、ホームへの理解が深まるよう根気強く取り組まれることを期待したい。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 会社全体で認知症介護マニュアルの作成に取り組んでいるが地域への発信はまだ出来ない。認知症を抱えた家族からの介護相談にえられる事もありその時には相談に乗っている | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 出来るだけ色々な方の出席をお願い報告、ご助言をいただきサービスの向上につなげるよう努力している。特に災害時には苑周りの状況の報告や町内の情報の収集に努めている | 利用者、家族、職員は交替で参加している。会議の内容は全職員で共有し、「災害」などについて出された意見をミーティングで検討している。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 出来るだけ出向き相談やご助言をいただきながら言いやすい関係づくりが出来るよう特に毎月の苑たよりは手渡しをするようにしている | 「苑だより」を毎月届けたり、「スプリンクラー」の件で話し合いを行ったり相談ごとなどしている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 研修や実践を通して身体はもとより言葉による拘束も毎回の会議で課題として取り上げ実践するようお願いを掛けあっている。夜間以外施錠することなく玄関、窓は開放している | 研修やミーティングで、言葉による拘束などについて話し合っている。行政から「安全のために施錠を」という指導があった。施錠には抵抗があるが、安全面で不安な思いもある。 | 常に職員間で身体拘束をしないための取り組みを話し合いながら検討を重ねていただきたい。 |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 社内外の研修は勿論の事会議時や毎朝の申し送り時にもお互い虐待行為のない様確認し合いながら会社全体でも身体拘束、虐待防止委員会を作り毎月のミーティング時、責任者会議で振り返りを行う事としている | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 成年後見制度を利用されている方もあり今後も制度の説明やご家族へのアドバイスなど職員共々研修の機会を重ねて行きたい | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居前にはご家族に契約書、重要事項、パンフレットをお渡ししご本人にもホーム内を見学していただき、疑問、不安点についてはお話をさせていただいている | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ご家族が来苑された際には出来るだけ自室でお話され利用者からの不満、不服が言えるよう配慮し又、毎月の報告書など送付時にはご意見、ご要望が記載され返信できるよう返信用封筒をお送りしている | 家族の面会時に話を聞いたり、毎月の報告書等に返信用封筒を同封し家族からの意見・要望を聞き、会議に取り上げて運営、サービスの向上に活かしている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | モニタリング、ミーティング、責任者会議などで意見を聞く場を設け又、個別面談も年間計画の中に取り入れ職員の意見を取り入れるようにしている | ミーティングなどで職員は意見を出し合い、主任、副主任を通じて経営者に伝えている。個別面談を年2回行い、職員の希望などを聞いている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 人事評価、人事制度を行っており、向上心を持てる環境作りやスキルアップ研修もありやりがいのある職場作りに努めている | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 会社は社内外の研修や学ぶ機会を多く持つ事を奨励し全国大会など毎年交代で参加できるよう配慮している | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者は益田圏域の管理者交流会にも出席し職員は年2回のGH交流研修会や他施設の訪問や交流会で話題の提供や問題点など話し合い解決につながる事も多い | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前の面接もご家庭やサービス利用中のご本人にもお会いし状況を把握するとともに思いも傾聴し入居後はしっかりご本人とコミュニケーションをとり良い関係作りが出来るよう努力している | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居前の見学、入居時、入居後もご本人、ご家族の思いもしっかり傾聴、相談に応じながら不安や心配事など何度にもわたりモニタリングを行い信頼関係が築けるように努めている | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ホーム見学時にご本人、ご家族の思いや状況を確認し入居が必要かどうか話し合いの場を設けている | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 共同生活の場の中でそれぞれの得意分野を生かした役割り作り又、不得手な方に対しても出番のある役割りがあるよう支えあいながら生活していただいている | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 日々のご本人の小さな様子も毎月の報告時にお伝えし急な対応が必要などときにはその都度連絡、報告をしている。又、外泊、外出時には身体状況、服薬等の情報の共有を行っている | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 受診時や外出時、地区の公民館の催しに参加したときには知り合いの方から親しく声をかけていただいている | 希望があれば、出来るだけ要望に沿うようにしている。「墓参り」や地元には馴染みの「お稲荷さん」を拝みに行くなど支援している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | その人のその日の状態に応じアクティビティを行い難しい利用者の方には職員が間に入りより良い関係が保てるよう支援している | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | お見舞いや他施設に入られた方にも面会するなどご家族とも思いつながり出来る関係が築けるよう努めている | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 担当者を決めてご本人の思いや意向を聞き取り出来るだけご本人の思いを大切にしているようにしている | 担当者が日々の関わりの中から利用者の思いを汲み取ったり、担当者以外の職員も気づきを業務日誌などに書き込み思いの把握に努めている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居時にはケアマネジャーや施設の生活相談員からの聞き取りや、ご本人、ご家族にも日常的にお尋ねしセンター方式を活用しながらモニタリング、ミーティング時に話し合いを重ねケアに活かすよう努めている | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | その人その人に合った暮らしの中でご本人の思いも大切にしながらその日の体調に合わせたケアに努めている | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 主治医の意見、ご本人の思い等月2回の会議時に担当者を中心に意見を出し合い検討し計画を作成、ご家族の思いや意見など毎月の返信用にて確認し次の計画に活かせるようにしている | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個々の生活記録票に各職員が日々の気づきや意見など記入しその都度検討、情報の共有を図りながら計画の見直しに活かしている | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | その時々々のケアの充実を図るため問題点などは責任者会議等で取り上げ事業所全体の問題点としてそのサービスに関わり対応している | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-----------------------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 近くの保育園との交流会も年5～6回行い園児さんとの交流を楽しみされている。又中学生の体験学習も毎年受け入れ体験学習をもとに介護や看護の道を目指しておられる方もあるとお聞きしている | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医からの訪問診療が月2回行われ必要時には受診の支援、眼科、歯科受診時にも職員が同行し経過報告書をもとに状況の説明を行いご家族には受診報告書で状況をお伝えしている | 認知症に理解のある医師が主治医であり、月2回、訪問診療が行われている。眼科、歯科などの受診は職員が付き添っている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 医療連携体制を導入し本人が安心して支援を受けられるよう常に相談、話し合っている | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には管理者が付き添い情報の提供、担当医、ご家族と連絡を密に取り合いながら、職員も頻りに面会に行きご本人の状態の確認をする共に早期に退院できるよう病院関係者と情報交換を行っている | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 終末期の方針は会社全体で話し合い共通理解のもとに取り組んでいるが緊急時に往診できる医師の問題もあり今後の課題でもある | 夜間の医療体制の問題もあり、これまでは家族などから看取りの希望は出ていない。会社全体では方針を共有しているが、家族や利用者、職員など関係者で話し合う機会が少ない。 | 関係者、職員間で方針を共有し、納得した支援となることを期待したい。 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 事故発生時の初期対応の仕方、連絡網をもとに訓練を定期的に行っているが外部研修や社内のマニュアル作り等事故防止に取り組んでいる | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回の火災、避難訓練を行い地域の方にも参加、協力をお願いし日中、夜間対策も実施している | 年2回訓練を行い、その内1回は地域の方と一緒にしている。行政とは避難場所の確認や、消防署から救急救命の講習を受けている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 気をつけてその人その人に合った声かけで対応している | ミーティングの時にプライバシーに関しての資料の読み合わせを行っている。耳の遠い方にはその方に合った声かけでトイレ誘導するなど対応している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 出来るだけご本人の意向に添うよう配慮し時々希望や不満はないか傾聴するようにしている | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日の個々のペースに合わせて自室で編み物をされる方、習字や手紙を書かれるなど自由に楽しんでいただけるよう支援している | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ご自分の好みの洋服を選んでいただいたりお化粧される方には誕生日に化粧品のプレゼントをしたり出来るだけ身ぎれいにさせていただき支援している | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 誕生日には好みの食事をお尋ねし準備したり柏餅作りや得意な方には魚を調理していただいている | 朝、パン食が習慣だった方にはパンにするなど対応している。三食共に手作りし、時には利用者の希望と一緒に柏餅を作ったりしている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 献立表をもとに栄養バランスを考慮した毎食の食事作りで、食事の摂取量の確認、水分補給もしっかり声かけを行い摂取していただくが難しい方には摂取しやすい形で支援している | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 難しい方には職員が誘導するなど毎食後の口腔ケアを行い保清に心がけている | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し出来るだけトイレで排泄できるよう職員間で情報を共有し支援している | 時間毎に声かけをし、職員間で情報交換をして排泄パターンを把握し、下剤の使用が減った。オムツから布パンツに変わった方もいる。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 一人ひとりの排泄パターンを把握して出来るだけ薬剤を服用しない支援を行っており苑独自のバナナ酢や牛乳などで定期的な排泄を確認している | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 体調や身体状況に合わせて入浴している | 入浴は2日に1回、午後の時間に支援している。利用者の体調によってはシャワー浴や清拭を行っている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 早起きの方やゆっくりされる方、お昼寝をされる方など独自に合わせて支援している | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | モニタリング、ミーティング、申し送り時には話し合いを行い、服薬の変更や新薬についても共通理解しご本人の身体状況についても見逃しのない様状態観察を行っている | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 花の水遣りや庭の草取りなどご自分の仕事としてされている方もあり習字も皆さんと一緒にされるだけでなく自室で練習されるなどあり今回は何人もの方の作品を全国大会に出展している | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | その時々季節に合った外出や全員での外出時には手作り弁当を持参し戸外で楽しんでいただいている。墓参りの支援や姉妹の家の訪問を希望される場合にはご家族からの協力をお願いしている | 買い物の希望、畑に行きたいなどの希望に対応している。墓参り、家族の家の訪問など職員の付き添いが困難な場合は家族に協力を依頼している。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 本人の希望に添いご自分で管理されている方もあり洋服や化粧品を購入時には職員が同行し一緒に選ぶなど支援している | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご家族、友達など頻繁に手紙を出されている方もあり電話希望される時にはおつなぎし荷物など届いたときには直接ご本人とお話が出来るよう支援している | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者の方の作られた季節ごとの作品や熱心にされている習字などの掲示をし希望された場合にはお部屋にも飾り楽しんでいただいている | ゆったりと過ごせるよう家具などが配置されている。静かなBGMが流れ、利用者は和やかにテーブルを囲み一緒に歌を歌うなど、居心地良い環境作りに配慮している。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 気の合った方との会話を楽しまれたり、お部屋で編み物をしておられる方を訪問されたり自由に過ごされ天気の良い日にはお庭でお茶を楽しまれている | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居時には馴染みの家具等持ち込まれるようお願いしテレビを持ち込まれた方は自室で好きな番組を見られる事もある。又希望される方にはご自分で作られた作品の掲示もされている | 居室には利用者の作品である「書」や、家族の写真などが貼られ、利用者一人ひとりの居心地良い空間となっている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | その人に合った声かけで出来る事、できない事を見極めながら花の水遣り、庭の草取り、食器洗いなどお願いし出来るだけ自立した生活が長く続けられるよう支援している | | |